

ハリー・ポッターとアズカバンの囚人

2004(平成16)年9月17日鑑賞(梅田ピカデリー)

★★★



監督＝アルフォンソ・キュアロン／出演＝ダニエル・ラドクリフ／ルパート・グrint／エマ・ワトソン／ゲイリー・オールドマン／ロビー・コルトレーン／マイケル・ガンボン／アラン・リックマン／デイビッド・シューリス (ワーナー・ブラザーズ映画配給／2004年アメリカ映画／142分)

……大人気シリーズの第3弾。ハリー・ポッターをはじめ人気のキャラクターは健在だが、おとぎ話の主人公としてはちょっと大人になりすぎ……？
また魔法ネタにも飽き、そろそろ賞味期限切れ……？ いろいろと「てんこ盛り」のストーリーだが、それにしても2時間22分はあまりにも長すぎないか……？

人気沸騰の第3弾だが……？

この映画は満を持して、2004年の夏休みに上映され、多くの子供連れの観客を呼び込んだことはまちがいない。しかし、シリーズ第3弾ともなると、そろそろネタ切れ……？ そのうえこの映画は、思わぬことから「魔法使い」となったハリー・ポッター（ダニエル・ラドクリフ）という少年と、その友人の少年少女が主人公だから、あまり長くシリーズを続けていると、彼や彼女たちが大人になってきてしまうので……？

もともと観る気はなかったが……？

シリーズ第1弾の『ハリー・ポッターと賢者の石』（01年）は、「どんな映画かな？」という興味で観に行っただものの、第2弾の『ハリー・ポッターと秘密の部屋』（02年）は、「もういいや」と思う気持で私は観ていない。

そして、この第3弾も全く観るつもりはなかったが、たまたま私の錯覚で観に行っただけが上映日前だったため、時間的に都合のついたこの映画に急きょ切り

かえたもの。したがって、最初からあまり期待もしていなかったし、観た後もやっぱり……？

パンフレットの構成は少しヘン？

購入したパンフレットは700円の大判のもので、結構立派。その中にはカラー写真がいっぱい。しかし、何かおかしい……。それは、このパンフレットには、写真がたくさん載っているうえ、主役たちのプロフィール紹介とプロダクションノートの記事はあるものの、普通のパンフレットにあるイントロダクションの解説やストーリー（の一部）の説明がないことだ。

そのうえ、誰の「解説」文も載っていない。これはなぜなのだろうか？ ひょっとして、うまく書けないのかな、と思わず邪推してしまったが……？

解説やコメントの難しい映画

そもそも、この『ハリー・ポッター』シリーズ第3弾のサブタイトル「アズカバンの囚人」からして、何のことかさっぱりわからない。映画は2時間22分と長い、このアズカバンの囚人ことシリウス・ブラック（ゲイリー・オールドマン）が、いつ登場してくるのかなかなかわからない。

そして現実には、その登場はずっと後になってから。しかも、登場してからのストーリー展開はドタバタ気味（？）だし、最後の「ハッピーエンド」も、何かとってつけたような感じ……。

第3弾のニューフェイス（？）として、馬とワシのハーフ=ヒッポグリフのバックビークが登場したり、ルーピン先生（デイビッド・シューリス）が狼男に変身したりするものの、今更そういうものを観て、喜ぶ気持にはなれない。もっとも、この映画はもともと子供が観るものだから、子供はそれを観て喜ぶのかもしれないが……？

そしてまた、子供がパンフレットを購入して読むわけではないから、パンフレットにはイントロダクションやストーリー紹介を書いても意味がないのかもしれないが……？ 私としても、この映画のストーリーや面白さについてのコメントは何とも書きづらいので、一切それは省略……。

主人公3人のキャラはよく出ているが……？

このシリーズでは、ハリー・ポッターとちょっと頼りなく弱々しい男の子のロン（ルパート・グリント）、そしてしっかり者の女の子のハーマイオニー（エマ・ワトソン）が主役。

この第3弾では、特にハーマイオニーが後半大活躍。第1弾でデビューしたのが13歳の時だから、今はまだ16歳だが、演技はしっかりしたもの。そして、顔立ちも正統派美人！ これからが楽しみな若手（？）女優だ。

他方、よくわからないのが、この3人と対比される3、4人の生徒たち。ちょっと顔を出してはいつもハリーたちの反撃にあって、スゴスゴと逃げ回るだけの嫌な役柄で、ちょっとかわいそう。

また、校長先生のダンブルドア（マイケル・ガンボン）や、善良な魔法使いのハグリッド（ロビー・コルトレーン）、そして、悪役（？）のスネイプ先生（アラン・リックマン）のキャラは従来どおりだが、第3弾の新キャラとしては、アズカバンの囚人であるシリウスが登場する。さらにもう1人、この映画のキーマンとして登場するのはルーピン先生。彼は、いかにも知的で正義の味方風だが、実は……？

シリーズ化につれて、いろいろなキャラが登場するのは当然だが、ストーリーはややこしくなるばかり……。それでも、やっぱり第4弾はつくられるのだろうか……？

2004(平成16)年9月18日記